

高崎高2年 矢野凌一朗さん

長い病院の待ち時間にも満を持つ人は多い。待ち時間をゼロにする完全オンライン医療サービス「CureJust!」(キュアジャスト)を発案した。夜間や緊急時に対応できるよう専門医師を雇用。人工知能(AI)が自動応答するチャットボットの活用で24時間利用可能とした。症状を入力するとAIが問診票を作成して医師に送信。受診の必要性などを利用者に伝える機能により、信頼性の高いオンライン診断が可能となる。

A I 問診 待ち時間解消



平田郁美県教育長(左)から表彰を受ける矢野さん

前橋工科大大学院修士1年 宗形 雅彦さん

酒蔵内の利用されなくなった蔵を蒸し風呂などに転用し、住民が街の歴史を肌で感じられる入浴施設を提案した。大学の仲間3人で考案した。日本酒がどう造られるかに興味があり、酒蔵を訪ねる中で、二つの酒造会社が近年撤退し、町田酒造が残る前橋市駒形町の現状を知った。日本酒を造る際に使う伏流水を湯として提供したり、使わなくなった蒸米用釜などを浴槽として使ったりすることで、酒造文化を身近に感じてもらえる

酒蔵跡を蒸し風呂に



県中小企業団体中央会の吉田勝彦会長(左)から表彰を受ける宗形さん

ビューティインキュベーション 館石 優さん

美容サロンの新たな開業の形として、モール型分譲サロン「CONDOSALON」(コンドサロン)を提案した。分譲サロンを購入して自己所有。利用しない時はシェアして貸し出す。一人では難しい規模、環境を手に入れることができるのが特徴。サロン出店を投資とし、美容技術者を従業員から経営者、店舗利用者から店舗オーナーへと押し上げる。美容室の新規出店は年間約1万軒あるとされ、なか

分譲型で美容サロン



山本龍前橋市長(左)から表彰を受ける館石さん

高校生の部入賞

高校では新聞部に所属。不自然と指摘する。ITに口から社会課題に目を、関する学びをさらに深め、向け「IT化が進む現代、将来は教育系のIT機器などで、病院の長い待ち時間は、手掛けたいと思っている。

大学生・専門学校生の部入賞

よう工夫した。喜びを分かち合いたい」と「一緒に企画したメンバー、感謝した上で、「前橋のたーや酒造関係者など支えて、めに見えることがあれば、くれた多くのひと、受賞の、つていきたいと見据えた。

一般の部入賞

でも1、2人の個人経営のした。入賞について「これ店舗が多く、店舗同士の間から始まる事業。非常に良携が進んでいないのが現状。イスタートが切れた」と喜だという。店舗同士や地域、つながれる仕組みも考案



ステージに勢ぞろいしたファイナリストたち

創造力 無限に熱く

伊勢崎商業高

2年 並里 璃王さん
3年 向山 太陽さん



大賞を受賞し、山本一太知事(左)から表彰を受ける(右から)向山さん、並里さん

量2枚分の面積で樹木275本分に相当する空気浄化力を持つコケの潜在能力に注目した。コケを活用した新素材を使って靴を開発し、環境に優しく、抗菌消臭効果があるて蒸れない新商品として、世の中に送り出したいとした。環境に配慮した靴を販売するオールバース、繊維業のユニチカとコンタクトを取り、すでに商品開発に着手。コケから靴を作るには幾つか方法があるというがコケの成分を抽出する場合、高級不飽和脂肪酸の除去が必要になることが判明した。埼玉大理学部の長谷川登志夫准教授と連携。准教授の協力を得てリモート会議を開き、同物質を除くする実験に乗り出している。



「本気の経営者の本気の商品で、本気で世に広めたい」。駐車場管理会社を運営。自社製品の自動販売機の設置場所を探す経営者をサポートしたことをきっかけに、市場を活性化させる自販機ビジネス支援事業を始めた。全国の自販機情報を集めるためInstagramを始め、フォトコンテスト形式にしたことで、1カ月で2千件を超える情報が寄せられた。併せて住所がない自販機へ確実に誘導するため、駐車場事業で培ったマップとGPS機能を駆使した検索サイト「自販機をさがせ」を立ち上げた。通販サービスなどへの展開も見据える。「メイドイン群馬のビジネスとして大きく広げていきたい」と決意を新たにしている。

大賞 コケ活用 蒸れない靴

群馬イノベーションアワード(GIA)2021のファイナルステージでは高校生から社会人まで18組が、創造力あふれるビジネスプランを発表した。伊勢崎清明高書道部のパフォーマンス、起業家による特別講演も行われ、彩りを添えた。

池田思奏 柚奈さん 松井 キノコ培地に

1年間に輸入されるソバのアルゲンは検出され約10万トから排出されるソバ殻は約2万ト。9割は焼却処分されてしまう。そこで「食べる漢方薬」と呼ばれるほど栄養価が高く、需要が伸びて能な開発目標(SDGS)というキノコ、キノコのサイクルを生み出したという。同校グリーンライフ科、キノコ研究班が約5年にわたる研究で、キノコにシイタケやヒラタケなどさまざまなキノコで栽培できる量の増やなど



関東経済産業局の浜野幸一局長(左)から表彰を受ける(右から)松井さん、池田さん

関東経済産業局長賞

を調査してきた。松井さんは「毎日練習したおかげで完璧な発表ができた。この経験を後輩に引き継ぎたい」とエールを送った。



群馬経済同友会の斎藤一雄代表幹事(左)から表彰を受ける木島さん

木島 広さん

「本気の経営者の本気の商品で、本気で世に広めたい」。駐車場管理会社を運営。自社製品の自動販売機の設置場所を探す経営者をサポートしたことをきっかけに、市場を活性化させる自販機ビジネス支援事業を始めた。全国の自販機情報を集めるためInstagramを始め、フォトコンテスト形式にしたことで、1カ月で2千件を超える情報が寄せられた。併せて住所がない自販機へ確実に誘導するため、駐車場事業で培ったマップとGPS機能を駆使した検索サイト「自販機をさがせ」を立ち上げた。通販サービスなどへの展開も見据える。「メイドイン群馬のビジネスとして大きく広げていきたい」と決意を新たにしている。

スタートアップ部門入賞 駐車場をさがせ 船越谷尚彦さん



伊勢崎商業高 2年 並里 璃王さん 3年 向山 太陽さん

援にまい進したい。